

海外で働きたい！

永住権を持ちたい

ハッピーリタイア

短期留学

こんな方のフィリピン 各種ビザサポート致します!!



強力な投資優遇制度

4～8年の法人税免除
輸入資材、部品などの関税免除 法人税免除後、・・・
粗利益5%の特別税など

[続きを読む](#)



豊富な労働力

人口1億人突破。平均年齢23歳。
国連の発表によると人口ボーナスのピーク
は2045年頃になると予想されている。

[続きを読む](#)



世界3位の英語人口

フィリピンでは英語が広く共通語として使われており、アメリカ・イギリスに次いで世界で3番目に英語を話す人口が多い国です。

(出所：フィリピン政府観光省)

[続きを読む](#)



安定した経済成長

2013年の経済成長率は7%中国に次いでアジア第2位でした。またIMFの2014年成長見通しでは東南アジアで唯一上方修正され、堅調さが光ります。

[続きを読む](#)



優秀な人材を 安価で雇用可能

マニラ首都圏（NCR）の最低賃金は、約1,100円（466PHP）。マネージャークラスの職歴保有者やプログラマー、エンジニアでも安価で雇用できるのが大きな魅力です。

[続きを読む](#)



日本から近い 地理的優位性

フィリピンは歴史的に日本との関わりも深く、東京からマニラまで約4時間、日本最西端の与那国島からフィリピン最北のイアミ島の間はわずか480km！

[続きを読む](#)





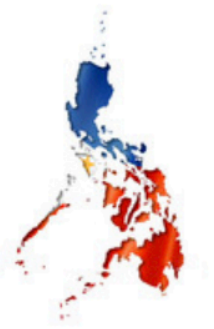
微笑みの国フィリピン

フィリピンと言えば、あなたは何を思い浮かべるだろうか。

正直言ってイメージはさまざまであろう。「危険」「汚い」「バナナ」「マンゴー」「きれいな海」「スモークマウンテン」「レイテ島」「フィリピンパブ」…。

過去に日本人へのアンケートで上位に挙がってたのが、これらのキーワードであった。逆にフィリピン人に聞いた日本のイメージは、「ハイテク」「賢い」「勤勉」「自然を愛する」「ジャパユキさん」「お金持ち」「ボルテスV」「サムライ」などが多かった。

あなたは覚えているだろうか…。日本列島改造論を掲げ、国民一丸となって一生懸命に頑張っていた古き良き活気あふれていた日本の姿を。あれからもう四半世紀以上の歳月が流れている。その姿を彷彿させる国、それはフィリピン共和国、通称フィリピンである。



年平均気温は26～27℃

フィリピンは太平洋に浮かぶ7,107もの島々から出来ている。

インドネシアに次ぐ世界第2位の群島国家で、1年を通して気温・湿度の高い熱帯モンスーン型気候の国である。

雨期と乾期はあるが、年平均気温は26～27℃と過ごしやすい。

眠らない大都市・マニラ

フィリピンと聞いて真っ先に思い浮かぶ街はマニラではないだろうか。

アジア特有の雰囲気味わえる、眠らない大都市・マニラ。

マニラは東南アジアの重要な港湾都市として古くから南シナ海の海上貿易の要衝として発展。16世紀になると海上交通の要衝としてのマニラの重要性に当時の海洋大国スペインが目し、植民地とした。

これ以来、フィリピンはスペインによる統治を受けることになったが、そんな中でも国際交易都市としてのマニラの重要性が変わることはなく、植民地時代も中国人などによって貿易の拠点とされてきたのである。

19世紀の末にはスペインとアメリカの間で米西戦争が勃発。アメリカはこの戦争で勝利し、フィリピンはアメリカの植民地となった。

スペインに代わってアメリカの影響を受けることになったマニラだが、フィリピンの中心としての地位に変わりはないのである。

その後、第二次世界大戦期にフィリピンは日本に占領され、マニラも日本の統治下に入ることとなった。

しかし終戦後にフィリピンはアメリカからの独立を果たし、マニラはその首都となった。

1976年には周辺の市町をまとめたメトロマニラ（マニラ首都圏）が成立し、現在に至る発展へとつながっている。

マニラ首都圏は12都市、5市町村の636平方km、人口総数2,000万人を超えるフィリピンの中核である。



東京からわずか4時間、時差も1時間のみ！

ここフィリピンはヨーロッパ・アメリカ・アジアの生活様式と文化が見事に融合しており、イスラムや仏教国の多いアジアの中では唯一のカトリック教国である。歴史的に日本との関わりも深く、東京からマニラまで約4時間、日本最西端の与那国島からフィリピン最北のイアミ島の間はわずか480kmしか離れておらず、時差も-1時間のみである。

世界第3位の英語人口

フィリピンでは英語が広く共通語として使われており、現地小学校では1年生から英語教育が行われている。フィリピンはアメリカ合衆国・イギリスに次いで世界で3番目に英語を話す人口が多い国だと言われている。前述2国と比べて比較的物価が安いことから語学留学でフィリピンを訪れる外国人も年々増えてきている。

また、フィリピン独自の言語で代表的なものはタガログ語である。もともとはマニラ周辺で使われていた言語であるが、1978年にフィリピン政府はタガログ語を「フィリピン語（ピリピノ語）」として公用語に定め、テレビ・ラジオなどのメディアを通じて全土に拡大させ、いわば国語と言えるほどになった。しかし現在でも母語として各地方にはそれぞれ独自の方言が500以上、そのうちの主要方言が9つあり、言語グループに分けても78もある。



総人口1億人を突破

総人口1億人を突破したフィリピンでは、インターネット普及率は40%弱とされているが、インターネットカフェなどからの利用で、各家庭でPCを保有しているわけではない。

しかし、2000年に2%を下回っていた普及率と比べても、フィリピンの急激な成長の一端が垣間見える。この普及率の急激な上昇には、フィリピン国内で各種ビジネスが急激に拡大していることと若い世代が海外の情報を取り入れるため、またSNSでの交流を深めるため、積極的にインターネットを利用していることが理由に挙げられる。

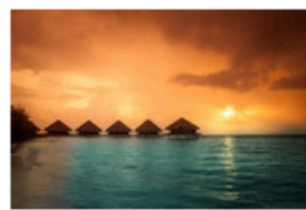
これらの若者はインターネット上で英語によるコミュニケーションを行っていると考えられ、タガログ語でのインターネット利用者は少数と考えられる。海外のアニメや漫画、特に日本のものは人気で、オタク文化も広まりつつあるだけでなく、日本のアニメを模したコスプレも非常に人気である。

在比日本大使館もコスプレコンテストや日本語カラオケ大会などのイベントを開催するなど、日比関係は非常に深まりつつある。



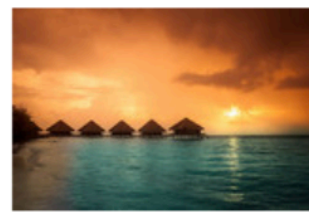
数多くの世界遺産と美しいビーチリゾートの数々、ハリウッドスターの心を掴んで離さない古都など

スペインによる植民地統治時代の歴史的建造物も多数残るフィリピンでは、当時のバロック建築の教会などを含め、世界遺産が現在8箇所認定されており、連日多くの観光客で賑わいを見せている。1571年に建造された国内最古の石造教会であるサンアゴスティン教会、東南アジア最大の珊瑚礁で、ウミガメや海鳥の生息地となっているトゥバダハ岩礁海中公園、夜には蛍が飛び交う幻想的な世界、2000年前にはほぼ手作業で造られたと言われる世界最大の棚田、コルディリエラの棚田群。第二次世界大戦の戦禍を逃れ、16世紀当時の面影を色濃く残す、ハリウッド俳優トム・クルーズがこよなく愛する古都ビガン。歴史に想いをはせながら、時の経つのを忘れてゆっくりと観光してまわるのもフィリピンでの楽しみのひとつになるだろう。



数多くの世界遺産と美しいビーチリゾートの数々、ハリウッドスターの心を掴んで離さない古都など

スペインによる植民地統治時代の歴史的建造物も多数残るフィリピンでは、当時のバロック建築の教会などを含め、世界遺産が現在8箇所認定されており、連日多くの観光客で賑わいを見せている。1571年に建造された国内最古の石造教会であるサンアゴスティン教会、東南アジア最大の珊瑚礁で、ウミガメや海鳥の生息地となっているトゥバダハ岩礁海中公園、夜には蛍が飛び交う幻想的な世界、2000年前にほぼ手作業で造られたと言われる世界最大の棚田、コルディリエラの棚田群。第二次世界大戦の戦禍を逃れ、16世紀当時の面影を色濃く残す、ハリウッド俳優トム・クルーズがこよなく愛する古都ビガン。歴史に想いをはせながら、時の経つのを忘れてゆっくりと観光してまわるのもフィリピンでの楽しみのひとつになるだろう。



親切で、人懐っこいフィリピン人

フィリピン人を一言で表す言葉、それは「フィリピーノホスピタリティ」である。これは暖かな「おもてなしの心」を持って、初めて会った人にも親切に接し、滅多なことではへこたれない陽気で笑顔を絶やさないという国民性をよく表している。この国民性は医療分野における世界移民看護師の供給国第1位という数値からも明らかである。

先進国での看護師不足は深刻で、発展途上国からの看護師を受入れ対応しているのが現状だが、その中でもフィリピンは高いレベルの看護教育とホスピタリティあふれる国民性から世界最大の看護師供給国となっている。



周辺地域の異なる民族が移住して多重の文化を形成してきた歴史的な背景や、カトリックの影響もあって今のような陽気で楽天的、親切的な「フィリピーノ・ホスピタリティ」と呼ばれる気質を持つようになったのではないだろうか。相手を思いやり、相手を立てるホスピタリティは、反面自分自身に対してもとてもプライドを重んじる傾向があり、それが高じて見栄を張ってまで相手のために無理をするといったことにも繋がるのことも否めない。しかしケセラセラという典型的なラテン気質も重ねて持ち合わせるようになったフィリピン人気質は、日本人にも見習うところが多いのではないだろうか。

急成長を続けるフィリピン

フィリピンは現在、急激な経済成長に入り、高層ビルや高級コンドミニアムも急激に増加、ボニファシオグローバルシティのような近未来都市開発があちこちで着実に進んでいる。その一方では路上生活者や物乞いなども存在する街もあり、貧富の差が激しい国だとも言われている。高級外国車に乗っている人々、乗り合いタクシーや乗り合いバス（ジブニー）などを日々の交通手段に使用している人々。さまざまな人々が行き交う国、フィリピン。このフィリピンに、きっとあなたは恋をするにちがいない。

フィリピンの概要 (出典：外務省ホームページ)



正式名称 フィリピン共和国 (Republic of the Philippines)

面積 299,404平方キロメートル (日本の約80%) 7109の島がある

人口 約9401万人 (2010年推定値、フィリピン国勢調査)

首都 マニラ (首都圏人口 約1155万人)

民族 マレー系が主体。他に中国系、スペイン系及びこれらと混血並びに少数民族。

言語 国語はフィリピノ語、公用語はフィリピノ語及び英語。80前後の言語がある。

宗教 ASEAN唯一のキリスト教国。国民の83%がカトリック、その他キリスト教が10%。イスラム教は5% (ミンダナオではイスラム教徒が人口の2割以上)。

平均寿命 男性69.5歳、女性73.9歳 (フィリピン国家統計局)

識字率 95.6% (2008年調査フィリピン国家統計局)

GDP 2504億ドル (2012年)

経済成長率 6.8% (2012年)





ビザの種類

滞在許可

日本人は入国許可なしに入国、空港で21日間の滞在許可のビザが貰えます。
21日未満の観光目的で入国される場合はビザ取得の必要はありません。

観光ビザ (9A)

フィリピンに21日以上滞在予定の場合、日本のフィリピン大使館または現地イミグレーションにて観光ビザの申請をすることにより滞在期間を延長することが可能です。（最長2年間延長可能）。

日本でこの申請を行う場合、日本のフィリピン大使館にて59日間有効のビザを取得することが可能です。すでにフィリピンに入国している場合は、最寄のイミグレーションで入国ビザを38日間延長することが可能です。
（その後、ビザの期限前に更新手続きを行うことにより、最長2年間観光ビザを延長することが可能です）。

ロングステイ予定の方の多くは観光ビザで入国されますが、6ヶ月以上の滞在者は、出国の際ECC(エクシット/クリアランス/サティフィケート)を取得する必要がありますのでご注意ください。（詳しくは下記参照）、観光ビザでのフィリピン国内労働は許可されておりません。

労働ビザ (9G)

9Gビザは、労働ビザ（ワーキングビザ）で、発給に関しては他国よりも容易であると言われておりますが、取得までに要する期間が概して長いというのがセオリーです。おおよそ3ヶ月～6ヶ月程度を目安とされるといいでしょう。

（申請前は、観光ビザになりますから、取得までの間はビザの延長が必要ですのでご注意ください）。
ビザの期間は、最大3年。過去の雇用状況により有効期間が変わります。同伴家族も同様に申請可能。

【必要書類とフロー】

まずは外国人労働局（DOLL）にて労働許可証を取得後、労働ビザ（9g）の申請を行う

＜必要書類＞

- 1、会社からのリクエストレター
- 2、申請書（公証人の認証があること）
- 3、労働契約書
- 4、雇い主の会社の定款・内規
- 5、SECからの認証済み定款
- 6、会社からの保証書
- 7、人事担当責任者からの証明書、会社で雇っている外国人社員の数などを明記
- 8、申請書の家族の出生証明書/結婚証明書など

滞在許可

日本人は入国許可なしに入国、空港で21日間の滞在許可のビザが貰えます。

21日未満の観光目的で入国される場合はビザ取得の必要はありません。

観光ビザ (9A)

フィリピンに21日以上滞在予定の場合、日本のフィリピン大使館または現地イミグレーションにて観光ビザの申請をすることにより滞在期間を延長することが可能です。（最長2年間延長可能）。

日本でこの申請を行う場合、日本のフィリピン大使館にて59日間有効のビザを取得することが可能です。すでにフィリピンに入国している場合は、最寄のイミグレーションで入国ビザを38日間延長することが可能です。

（その後、ビザの期限前に更新手続きを行うことにより、最長2年間観光ビザを延長することが可能です）。

ロングステイ予定の方の多くは観光ビザで入国されますが、6ヶ月以上の滞在者は、出国の際ECC(エクシット/クリアランス/サティフィケート)を取得する必要がありますのでご注意ください。（詳しくは下記参照）、観光ビザでのフィリピン国内労働は許可されていません。

労働ビザ (9G)

9Gビザは、労働ビザ（ワーキングビザ）で、発給に関しては他国よりも容易であると言われておりますが、取得までに要する期間が概して長いというのがセオリーです。おおよそ3ヶ月～6ヶ月程度を目安とされるといいでしょう。

（申請前は、観光ビザになりますから、取得までの間はビザの延長が必要ですのでご注意ください）。

ビザの期間は、最大3年。過去の雇用状況により有効期間が変わります。同伴家族も同様に申請可能。

割当移住・永住ビザ (13E)

フィリピンと移民協定を結んでいる国、アメリカ、ドイツ、日本に対して発行されるビザで年間発給数が50人制限の設けられた永住権を獲得できるビザ。

デポジットの必要もなく、年間の更新料もなし、更に年齢制限もないという最強の永住ビザですが、年間50人という制限からその年の上限に達してしまうと否応なく来年以降に取得が持ち越しになってしまうので、申請時期には注意が必要。4万ドルの預金証明が必要ですが、ビザ取得後、生活費等に使用することが可能。ビザ発行に先立ち面接があります。発行に要する期間は3ヶ月程度。

投資委員会・特別経済区ビザ

BOI・PEZAに登録している会社で働く外国人とその家族に与えられるビザ（通称：メプサビザ）。

職位により異なりますが、外国人社員については下記の書類が必要です。

<必要書類>

1. 在職証明書
2. 会社からのリクエストレター
3. パスポートのコピー
4. PEZA申請書
5. 履歴書
6. SEC認証済定款
7. 雇用契約書
8. 写真

特別労働ビザ（短期）

労働に対して無報酬が条件となる、研修や技術指導などを対象としたビザ。（最大3ヶ月まで延長可能）
ビザ無しまたは日本で取得した観光ビザ（59日間）で入国後、申請し現地イミグレーションで発行される特別ビザ。

<必要書類>

1. パスポート
2. 会社との契約書
3. SECの認証済定款
4. リクエストレター

バリックバヤン・ビザ

フィリピン人と結婚している外国人が、入国時にフィリピン人の配偶者と一緒に入国する事を条件に空港到着時イミグレーションにて、自動的に1年間の滞在許可が与えられます。

学生ビザ

入学希望の学校から入学許可を得た後、フィリピン外務省・在日公館に必要書類を提出し、在外フィリピン大使館又は、領事館より発給されるビザです。

医学・歯学の場合は高等教育委員会（CHED）の入学資格認定証明書が必要です。

ビザなしで入国、または観光査証などからの現地切り替えも可能。

【フィリピン外務省提出書類】

- ◆入学許可証 ◆履歴書（写真貼付）
- ◆通学滞在費用をカバーする財政証明
- ◆成績証明書（在日公館認証要）
- ◆パスポートコピー ◆出生証明書（在日公館認証要）

【在日公館での学生査証申請書類】

- ◆申請書 ◆写真3枚
- ◆無犯罪証明書（日本の警察本部発行）
- ◆健康診断書 ◆パスポート

その他の注意点

二重国籍

両親のどちらかがフィリピン人である場合、その子供が18歳になるまで、二重国籍を保留できます。

18歳になったら、2か国どちらかの国籍を選ぶ権利があります。

入管及び司法省での審査のあとビザが発給されます。

<必要書類>

1. 両親のパスポートのコピー
2. 子供のパスポート
3. 両親の出生証明書コピー
4. 結婚契約書または、証明書
5. 宣誓書
6. 子供の出生証明書

日本で生まれた場合、子供の出生証明書を在マニラ日本大使館にて取得する。

*戸籍謄本を翻訳、認証を得たもの。

フィリピンで生まれた場合、NSOからの出生証明書

外国人労働登録証明書

外国人がフィリピンで就労する場合、労働ビザとは別にこの外国人労働登録証明書を取得する必要があります。

労働ビザと同様、会社の規模、役職、会社との契約書、学歴、職歴などを審査されます。会社の株主1人である場合には必ず取得できますが、そうでない場合、許可されない場合もございます。

<必要書類>

1. レターリクエスト
2. 申請書
3. 会社との契約書
4. ACR/ICR(もしあれば)
5. 写真
6. SECの認証済定款
7. 役員決議書又は、会社総務担当役員の証明書
8. 履歴書
9. 結婚証明書

パスポートの有効期限

旅券の有効期限が滞在許可期限に失効する場合イミグレーションでは、旅券の失効期限の6ヶ月前までしか滞在許可を与えません。

また、他国へ旅行する場合旅券の残存有効期限が少ないと、入国時、問題となる国もありますので注意しましょう。通常6ヶ月以上の有効期間が必要です。盗難や事故でパスポートを紛失してしまった場合その現場の所轄の警察署に被害届けをだすか、又は、観光省のツーリスト、アシスタント、センターに届けます。

在マニラ総領事館に以下の必要書類を揃え、渡航許可証を申請します。

<必要書類>

1. 警察または、観光省からの紛失証明書
2. 帰りの航空券または、予約確認書
3. 写真3枚

渡航証明書取得後イミグレーションで、この渡航証明書に入国スタンプを押してもらうこと

(警察、観光省からの事故届で証明書が必要です)

再入国許可証・出国許可証

ACR-Iカードがあれば以下の書類は必要なしに、直接空港で出入国手続きができるようになりました。

申請中の方は、以下の出国前に書類が必要です。

■Re-Entry Permit■

滞在ビザは、その種類がどんなに長期の許可を持っても、フィリピンを出国した時点で、その効力を失ってしまいます。

現在持っているビザを消滅させずに出国するためには、リ・エントリー・パミット（再入国許可証）を取得しておく必要があります。

■Emigration Clearance Certificate■

出国の手続きの際に、リ・エントリー・パミットと一緒に申請し取得します。

観光ビザで入国した観光客は21日を過ぎる前に延長手続きをしますが、延長して滞在期間が6ヶ月を過ぎる場合は、出国にあたってECCを取得する事が義務づけられています。6ヶ月以内の場合は必要有りません。



セミリタイアメントビザ

35歳以上49歳までの方は約500万円で永住権取得！

50歳以上の方は約200万円で永住権取得！

永住権取得後は物件購入費などに使うことが可能です。



フィリピン永住ビザ取得のメリット

■永住権の取得

再入国の際の許可が不要になり、出入国が自由にできるようになります。

■家族の同伴

配偶者と21歳未満の子供一人を追加預金なしで同伴でき、子供は特別就学ビザや学生ビザの取得は不要になります。

永住ビザ取得条件

SRRVクラシックプラン（就労可能な退職者ビザ）

退職者ビザ申請者はPRA（比国退職庁）の指定銀行に35～49才は\$ 50,000.00 米ドル、50才以上は\$ 20,000.00 米ドルの供託預金が必要です。

1ヵ月後にはPRAの許可を得てコンドミニウム購入又は家付き土地の長期リース（25年）に投資する事が可能です。但し\$ 50000.00 相当のすでに居住できる物件に限られます。

年金受給者プラン

年金一ヶ月\$ 800.00、夫婦の場合\$ 1,000.00 以上を受給していれば、\$ 10,000.00 の供託預金で申請出来ます。投資条件はSRRV クラシックプランと同じです。

SRRVスマイルプラン（就労可能な退職者ビザ）

退職者ビザ申請者が35才以上で指定銀行に\$ 20,000.00 の供託預金をして頂きますが、投資はできません。



セミリタイアメントビザ

35歳以上49歳までの方は約500万円で永住権取得！

50歳以上の方は約200万円で永住権取得！

■不動産購入時の銀行融資利用

レバレッジを効かせた不動産投資が可能になります。

■ジャパンレールパス

日本の新幹線などが8日間乗り放題になるパスを38,000円で購入できます。

■銀行口座開設

為替リスク・カントリーリスクのヘッジになる海外口座取得可能

■就労が可能

外国人労働許可証（AEP）の取得で、就労が可能となります。

■CITY BANK

60円以下で1マイルが貯まってしまうCitybankのクレジットカードが取得できます。

■税金

恩給ならびに年金による収入は税金がかかりません。

SRRVヒューマンタッチプラン

ビザ申請者が35才以上で\$10,000.00の供託預金、更に外国から障害者年金を1ヶ月\$1500.00以上受給されている方で、看護を要する方が対象です。

投資は出来ません。

＊注意：退職者ビサプランの取得後のプラン変更は、クラシックプランからスマイルプランへの変更しか出来ません。

35歳のクラシックプラン保持者が50歳になった時には\$30,000.00を引き出すことが出来ます。



お問い合わせ



フィリピンの各種ビザ取得に関するお問い合わせ、ご相談は下記宛先までご連絡いただけますようお願いいたします。

customersupport@7seasproperties.com

7CZ Angel Corporation